シラバス参照

タイトル「**2023年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー	SSCS4606		
科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	辰田　和佳子		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	水４		
講義室	1005	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3-G〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP4-F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP5-J〔創造的挑戦力・達成力〕コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 DP8-M〔省察力〕知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ＣＲコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（ＣＲ）との関連 F1 探求と論拠（40%） G1 状況把握（20%） I2 量的分析（5%） I3 情報分析（20%） J2 創造的思考（15%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット　能力開発目標ステージとの対応 3発展期～4定着期		
科目概要・キーワード	ゼミナールⅠに続き、グループでの作業を進め、最終的には研究発表会を開催します。研究発表会に向けて、研究のプレゼンテーション方法について実践を通して学んでいきます。また、卒業研究や卒業論文として各自が取り上げたい課題を選択していく準備を行い、論文の書き方についても理解を深めていきます。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 ■キーワード　研究、省察、反省的実践		
授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する研究の実践および発表と振り返り ■授業の目的 学習した内容を基に自身もしくはグループでゼミナールⅠで立案した研究計画の再検討を行いそれを実践し、研究結果に関する他者との議論内容を踏まえ、発表することができることを		

	目的とする。 ■授業のポイント 　自身もしくはグループでの研究計画立案のために、先行研究を整理し、エビデンステーブルを作成します。先行研究および観察から生じた疑問に対し、仮説を立て研究計画を作成していきます。
総合到達目標	■具体的な研究計画を立案する能力を養うために、自身が実施する研究についてその背景と目的を説明することができる。 ・自身の身近な場面で生じた疑問点や課題を、食生活・栄養的側面と関係づけられる。（第1回～3回） ・自身の身近な場面で生じた疑問点を、先行研究と比較し、リサーチクエスチョンを具体的に述べられる。（第3回～15回） ■自身の研究の意義を他者に伝える能力を養うために、仲間との議論を重ね、自身およびグループでの具体的な発表方法を検討することができる。 ・先行研究に関するプレゼンテーションを通して、他者が理解しやすい内容・方法で伝えられるよう配慮できる。（第11回～15回） ・自身の研究計画の発表を通してコミュニケートできる。（第11回～15回）
成績評価方法	■授業内の課題発表1回（30%）：適用ルーブリックF1・J2 （評価の観点）対象者、目的に見合った内容になっているかを評価します。 （フィードバックの方法）次週の授業で振り返りと解説をします。 ■プレゼンテーション2回（60%）：適用ルーブリックF1・G1・I2・I3・J2 （評価の観点）抄読論文について、適切にまとめられているか、論文の強み弱みを理解できているかを評価します。また研究計画について現段階までの整理が出来ているかを確認します。 （フィードバックの方法）各発表後に、講評、補足をします。 ■授業参加度（10%）：適用ルーブリックF1・I1 （評価の観点）発言、質問、意見の交換など、授業構築への参加を記録し評価します。
履修条件	「ゼミナールⅠ（SSCS4605）」を履修していること
履修上の注意点	特にありません
授業内容	

回	内容
1	①授業テーマ 　ガイダンス ②授業概要 　授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。 ③予習（120分） 　シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分） 　ガイダンスによって説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認しておく。
2	①授業テーマ 　研究計画に向けて ②授業概要 　自身もしくはグループでの研究計画のために、興味がある研究に関して、わかっていること、わかっていないことを整理する方法を習得する（F1・I2・I3）。 ③予習（120分） 　自身もしくはグループで行う研究について、対象者を選定しておく。 ④復習（120分） 　先行研究を整理するためのエビデンステーブルについて、各項目を設定する。
3	①授業テーマ 　エビデンステーブル作成①-1 ②授業概要 　先行研究に関する文献を精読し、その目的や研究方法（対象者、調査項目、統計手法）、結果を整理し、自身の研究の背景として活用することができる（F1・I3）。 ③予習（120分） 　議論できるようにその文献を読み、自分なりに考察しておく。 ④復習（120分） 　エビデンステーブル作成をすすめる。
4	①授業テーマ 　エビデンステーブル作成①-2 ②授業概要

	先行研究に関する文献を精読し、その目的や研究方法（対象者、調査項目、統計手法）、結果を整理し、自身の研究の背景として活用することができる（F1・I3）。 ③予習（120分） 議論できるようにその文献を読み、自分なりに考察しておく。 ④復習（120分） エビデンステーブル作成をすすめる。
5	①授業テーマ エビデンステーブル作成①-3 ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その目的や研究方法（対象者、調査項目、統計手法）、結果を整理し、自身の研究の背景として活用することができる（F1・I3）。 ③予習（120分） 議論できるようにその文献を読み、自分なりに考察しておく。 ④復習（120分） エビデンステーブル作成をすすめる。
6	①授業テーマ エビデンステーブル作成①-4 ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その目的や研究方法（対象者、調査項目、統計手法）、結果を整理し、自身の研究の背景として活用することができる（F1・I3）。 ③予習（120分） 議論できるようにその文献を読み、自分なりに考察しておく。 ④復習（120分） エビデンステーブル作成をすすめる。
7	①授業テーマ エビデンステーブル作成①-5 ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その目的や研究方法（対象者、調査項目、統計手法）、結果を整理し、自身の研究の背景として活用することができる（F1・I3）。 ③予習（120分） 議論できるようにその文献を読み、自分なりに考察しておく。 ④復習（120分） エビデンステーブル作成をすすめる。
8	①授業テーマ エビデンステーブル作成①-6 ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その目的や研究方法（対象者、調査項目、統計手法）、結果を整理し、自身の研究の背景として活用することができる（F1・I3）。 ③予習（120分） 議論できるようにその文献を読み、自分なりに考察しておく。 ④復習（120分） エビデンステーブル作成をすすめる。
9	①授業テーマ エビデンステーブル作成①-7 ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その目的や研究方法（対象者、調査項目、統計手法）、結果を整理し、自身の研究の背景として活用することができる（F1・I3）。 ③予習（120分） 議論できるようにその文献を読み、自分なりに考察しておく。 ④復習（120分） エビデンステーブル作成をすすめる。
10	①授業テーマ エビデンステーブル作成①-8 ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その目的や研究方法（対象者、調査項目、統計手法）、結果を整理し、自身の研究の背景として活用することができる（F1・I3）。 ③予習（120分） 議論できるようにその文献を読み、自分なりに考察しておく。 ④復習（120分） エビデンステーブル作成をすすめる。
11	①授業テーマ 研究計画①-1

		②授業概要 　作成したエビデンステーブルを参考に、今後明らかにすることを設定し、研究テーマおよび目的を設定する。テーマ・目的およびその設定までのプロセスを他者に説明できる（F1・G1・J2）。 ③予習（120分） 　議論できるように、自分なりにテーマ・目的とそのプロセスを整理しておく。 ④復習（120分） 　議論から得た修正点を踏まえ、再度考察する。
	12	①授業テーマ 　研究計画①-2 ②授業概要 　作成したエビデンステーブルを参考に、今後明らかにすることを設定し、研究テーマおよび目的を設定する。テーマ・目的およびその設定までのプロセスを他者に説明できる（F1・G1・J2）。 ③予習（120分） 　議論できるように、自分なりにテーマ・目的とそのプロセスを整理しておく。 ④復習（120分） 　議論から得た修正点を踏まえ、再度考察する。
	13	①授業テーマ 　研究計画①-3 ②授業概要 　作成したエビデンステーブルを参考に、今後明らかにすることを設定し、研究テーマおよび目的を設定する。テーマ・目的およびその設定までのプロセスを他者に説明できる（F1・G1・J2）。 ③予習（120分） 　議論できるように、自分なりにテーマ・目的とそのプロセスを整理しておく。 ④復習（120分） 　議論から得た修正点を踏まえ、再度考察する。
	14	①授業テーマ 　研究小史の作成①-1 ②授業概要 　作成したエビデンステーブルを参考に、教員の指導を受けながら研究小史を作成する（F1・G1・I3）。 ③予習（120分） 　エビデンステーブルを見直し、先行研究から得られた知見を確認しておく。 ④復習（120分） 　教員の指導を参考に、文章を修正する。
	15	①授業テーマ 　研究小史の作成①-2 ②授業概要 　作成したエビデンステーブルを参考に、教員の指導を受けながら研究小史を作成する（F1・G1・I3）。 ③予習（120分） 　エビデンステーブルを見直し、先行研究から得られた知見を確認しておく。 ④復習（120分）　教員の指導を参考に、文章を修正する。
関連科目	「コーチング学研究法演習（SSCS2317）」	
教科書	ありません。	
参考書・参考ＵＲＬ	ありません。	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先　開講時に告知します。 ■オフィスアワー　火曜3限。それ以外の時間については、メール等で事前にアポイントメントとることにより、研究室で対応します。	
研究比率		

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.